

主計局

主計局主計官補佐(復興係担当)

村田 浩司 [平成10年入省]
MURATA Koji



未来に希望を持てる予算を志向する

現在の業務内容

主計局復興係で、主に東日本大震災復興予算を担当しています。

あの未曾有の災害から12年が経ち復興は着実に進んでいますが、被災地では心のケアや風評対応など引き続き重要な課題も残っています。

復興係では、予算編成を通じて復興ステージの進展に応じた支援などについて復興庁と議論し、予算成立後も担当事業の進捗把握や執行協議など、年間を通じて復興施策に関わっています。

また、本年4月に設立され、「創造的復興の中核拠点」として期待される福島国際研究教育機構の予算も担当しており、新法人の立ち上げにあたり、予算以外にも法人の位置付けや組織体制、将来展望に至るまで様々な議論をしています。

主計局の魅力・やりがい

予算編成では、予算要求(相手)側の省庁の要求を公費の効率性、公平性の担保、国と地

方の役割分担などあらゆる観点から精査しますが、そこで求められるのは単に要求された予算を削減することではありません。

私自身も復興庁予算を担当する実質的な責任者として、被災地に寄り添いながら、前例にとられない柔軟な発想で、被災地の自立にも繋がり地方創生のモデルとなる予算を作ることを目標に復興予算と向き合ってきました。

真に予算を必要としている方々がいることを忘れず、国家財政的な視点のみならず、相手省庁の立場にも立って物事を考え、そのうえで政策・事業の根底にある課題を見極め、共に課題解決していく真摯な姿勢が求められます。

相手省庁と合意形成を図っていくプロセスは一筋縄では行きません。まずは自分の頭で考え抜き、上司や部下とも議論を交わし、相手省庁とギリギリまで議論し予算をまとめていく過程はとても緊張感がありますが、国の財政を支える一員としての責任が求められる魅力的で大きなやりがいを感じることでできる仕事だと思います。

財務省を志望する方へのメッセージ

私が学生の頃は、財務省(入省当時は大蔵省)は数居が高いお役所というイメージしかなく、自分とは全く縁がない就職先だと思っていました。それが半ば興味本位で官庁訪問して早20年余、縁とは不思議なものです。

「少しでもこの国を良くしたい」、「少しでも人のために役立つ仕事をしたい」という方は、是非一度、財務省に足を運んでいただければ幸いです。

そんな思いを秘めた方々とこの職場で一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



国の予算の編成や決算の作成、会計制度の企画・立案等

社会保障、公共事業、教育、安全保障、食料の安定供給等、国の政策実現の裏付けとなるのが予算です。予算編成過程における各省庁との議論を通じ、分野ごとの施策の優先順位を洗い直し、無駄を排除しつつ、限られた予算を経済効果の高い施策に重点的に配分しています。近年では、その規模は100兆円を超えるものとなっており、日本の財政を担う省庁として、将来世代を含む国民の方々に対して責任ある予算編成が求められています。また、予算編成のみならず、予算に関連する法律・制度の見直しや、予算の使用状況を示す決算の作成、予算執行調査等、予算の見直しに繋げていく取り組みも実施しています。

主計局概要

多角的な視点から予算を見る

現在の業務内容

私が所属している経済産業第二係では、経済産業省が実施するエネルギー対策関係の予算を担当しており、その中でも私は石油や天然ガス等の資源・燃料に関する予算の編成業務を行っています。

予算編成においては、8月末に各省庁からの概算要求を受け、12月の政府予算案の閣議決定というゴールに向けて、相手省庁の担当者と議論を重ね、予算を査定していきます。査定にあたっては、単価の設定や数量は妥当かといったミクロな視点から、事業の内容や実施方法が、政策目的を達成するために適切なものとなっているのかといったマクロな視点まで、限られた予算で最大の効果が発揮されるよう、納税者たる国民の視点に立って、様々な角度から精査をしています。

業務の中心は予算編成業務ですが、予算編

成が終わってからも、予算に関する様々な資料の作成・確認や、予算の執行にあたり、各省大臣から財務大臣へ協議される事項の審査も行っており、その内容や計数の確認作業などを行っています。

現在の業務の魅力・やりがいについて

予算編成を担当する係では、私のような社会人になって間もない係員であっても各省庁が実施する事業の予算の担当者となり、予算の査定を行います。担当する事業の予算については、自身の仕事次第でその事業に充てられる予算額が決まるため、重責を感じることもありますが、予算編成を終えた際の達成感は、計り知れないものがあり、大きなやりがいを感じます。

また、自身の担当事業を一つとつても、予算編成は自分ひとりの力ではやり遂げることは



できません。編成にあたっては、政策の企画立案・実施等を行う各省庁の担当者や上司と議論を重ね、関係者が納得・合意できる予算を作り上げていくことになります。その議論を通じ、自身の担当事業はもちろんのこと、広くその分野に関する知識・知見を深めていくことができるのも大きな魅力です。予算編成を通じて得た経験は、予算編成のみならず、財務省内の他の業務にも活かしていくことができるものだと思うので、財務省へ入省されたら、是非一度、予算編成を経験してほしいと思います。

主計局経済産業第二係

清水 美帆 [令和3年入省]
SHIMIZU Miho



理財局

理財局農林水産・環境係長

小坂 菜乃花 [平成26年入省]
KOSAKA Nanoka



国民生活を支える財政投融资

現在の業務内容

私は現在、理財局農林水産・環境係に所属しており、財政投融资計画の編成業務を担当しています。財政投融资は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の方々への資金繰り支援や、空港や鉄道等のインフラ整備、学生への奨学金事業など、実は私たちの身近なところで活用されており、私は農林水産業の活性化やカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを担当しています。

予算には償還という考えはなく、使用時の効果を踏まえて、予め措置されるものですが、財政投融资は、「融資」や「投資」といった原資の回収を前提とした資金のため、融資した資金が確実に返済されるのか、投資による収益がどの程度見込まれるのか等、資金の特性を踏まえた観点から問題がないか審査を行います。

また、審査にあたっては対象事業のことをよく理解しておくことが重要であり、各省の担当者からそれぞれの政策方針や事業内容についてよく話を聞き、事業の目的達成のために財政

投融资をどのように活用していくことが効果的であるか等、様々な議論を重ねて財政投融资計画の編成を行います。

理財局のやりがい・魅力について

理財局は財政投融资のほか、国債や貨幣の発行、国有財産、たばこ・塩事業など多様な分野を担っており、様々な業務に携わることができます。

現在携わっている財政投融资の財源は、国債によって調達した資金や国有財産である政府保有株式の配当金等で賄われているなど、理財局内のそれぞれの業務には繋がりががあります。私も以前は、国債の入札手続きや証券会社へのヒアリング等を行っていましたがその知識や経験が財政投融资業務で活かせる場面もあり、今後新たな経験を積むことで、局内の業務全体において多角的な視点で判断ができるようになると思います。

また、財政投融资の令和5年度当初計画額は約16兆円であり、膨大な金額を扱うなど、国家公務員ならではのスケールの大きな仕事

を経験する機会もありやりがいを感じています。但し、日々の業務では、実際にそれらの資金がどのように国民の役に立っていくのかという視点も忘れないようにしています。

財務省の仕事の魅力について

財務省の仕事は、財政を通じて国のあらゆる政策へ影響しており、直接財政に携わる仕事がしたいと考えている方はもちろん、特定の分野に限らず国全体に貢献したいという方にも、やりがいを持って働ける職場だと思います。

私自身は学生時代に財政や経済などを専攻していませんでしたが、様々な業務を経験する度に新たな知識を習得することができ、財務省の業務の面白さを感じています。財務省は予算・税制・国債など様々な業務分野が集まる組織ですが、それぞれが相互に関連し合い、国の財政は回っているのだと実感しています。財務省の仕事に少しでも興味を持たれた方は、ぜひ一度足を運んでいただき、財務省の雰囲気を実際に感じてもらえたら嬉しいです。

理財局概要

●国庫・通貨

収入支出の調整(資金繰り)を行う等、国庫金の効率的・統一的な管理、運用を図っています。また、通貨に対する信頼維持のため、通貨制度の企画・立案、通貨の製造計画の策定、偽造対策等も行っています。

●財政投融资

税財源によらない国の投融资活動です。リスクが高く、民間では十分に対応できないものの、政策的必要性から資金供給を行うべき分野に対して、財投債の発行によって調達した資金等を財源として、長期・固定・低利の融資やリスクマネーの供給を行っています。

●国債管理

税収等で賄えない歳出需要を賄うため、国債の発行または借入により資金調達を行っています。確実かつ円滑な国債発行により、資金を確実に調達するとともに、中長期的な調達コストを抑制するため国債管理政策を企画・立案し、執行しています。

●国有財産

国有財産は、国が所有する土地や庁舎等の建物といった不動産、国が政策的な出資により取得した株式等、国民共有の資産です。こうした国有財産を適正に管理または処分し、財政に貢献するとともに、地域・社会のニーズに応じて有効に活用しています。

経済活動・国民生活の基盤となる通貨行政

現在の業務内容

通貨行政は、令和3年11月に新500円貨が発行され、令和6年上期には約20年ぶりに新日本銀行券(一万円札など)の発行が予定されており、今、大きな節目を迎えています。また、あまり知られてはいないかもしれませんが、国家的な記念行事の際には、「記念貨幣」というものが発行されており、最近では鉄道150周年記念貨幣や、沖縄復帰50周年記念貨幣が発行されています。

現在私が所属する理財局国庫課通貨企画調整室では、通貨の適正かつ円滑な供給・流通、また、最新の偽造防止策等による通貨の信頼性確保に向け、企画立案業務を行っています。例えば、新500円貨や新日本銀行券の発行に際しては、どのようなデザインにするの

か、どのような偽造防止技術を採用するか、といった事に関して、通貨の適正かつ安全な流通や通貨に対する信頼を維持するため、実際に通貨を製造する造幣局・国立印刷局と共に検討を行います。他にも、記念貨幣であればより良い記念貨幣となるよう、どのような記念行事を題材にするか、発行枚数は何枚にするのか、といった検討を行っています。このように日常生活を送るうえで欠かせない通貨に関して、世の中に出回る前の段階で、様々な議論や検討に携わることができるというのは、非常に貴重な経験です。

その中で、私は通貨調整係を担当しており、適切な通貨行政を行ううえでの前提となる造幣局・国立印刷局の組織・業務運営目標の策定や、業務実績の評価を担当しています。両法人は、通貨の製造等の経済活動・国民生活

の基盤となる業務を行っており、国と一体的に密接な連携を図りつつ業務を行う必要があるため、監督を行う財務省が両法人に年度目標を指示し、年度毎の業務実績を評価することとなっています。

通貨を取り巻く環境は、昨今のキャッシュレス決済の普及など社会の生活様式の変化に影響を受けており、両法人における毎年度の目標の策定や、業務実績の評価を実施する際にも、そのような環境の変化を反映した内容にアップデートしていく必要があり、両法人と日々議論を重ねています。

また、造幣局にて毎年開催されている貨幣大試験や、記念貨幣の製造を開始する際に行われる打ち初め式といった大規模なイベントへ参加ができるのも当室の魅力の一つです。

理財局国庫課通貨調整係

中島 悠人 [平成30年入省]
NAKAJIMA Yuto



国際局

国際局調査課為替実査室長

舟橋 聡 [平成4年入省]
FUNABASHI Satoshi

日本への貢献、 世界への貢献を考える

現在の業務内容

私は「外国為替検査」を実施する為替実査室に所属しています。最近、新聞等で「対ロシア経済制裁」という記事を見た方もいらっしゃると思いますが、日本は、北朝鮮やロシアなどに対し経済制裁を実施しており、その一環として指定された制裁対象者へ日本から海外送金をできないようにする資産凍結等措置などを実施しています。「外国為替検査」は、海外送金などを行っている金融機関がこうした資産凍結等措置を遵守しているかを検査し、我が国の経済制裁措置が確実に実施されているかを確認することが主な業務です。私の業務は、検査責任者として当室の検査官とともに金融機関に対する検査の実施や財務局に配置されている検査官(約50名)と連携して、全国規模でこの検査が実施できるよう調整などを行っています。

国際局の 魅力・やりがいについて

国際局の主な業務として外国為替市場の把握・分析や外貨準備の管理、外国為替及び外国貿易法(外為法)に基づく経済制裁などへの対応、開発途上国等に対する経済協力などがあります。いずれもグローバルな経済活動に直結した業務となっており、最近では「経済安全保障」という分野も国際局の一つの業務として注目されています。そのため、国際局の職員は、海外とのやりとりはもちろんのこと、多くの職員が留学も含め海外赴任などを経験しています。このように国際的な活動をする部局であることから、自身が行っている仕事日本のためだけではなく、世界のためにも何らかの貢献ができることが魅力の一つであり、そうした仕事に携われることにやりがいを感じています。

財務省を志望する方への メッセージ

財務省は、予算、税制、関税政策、国有財産管理、国際政策など幅広い業務を担っています。それぞれの業務について様々な課題があり、財務省は、こうした課題に向き合い、より良い社会となるよう解決に向けた努力を続けています。このような努力を続けていくためには、社会に貢献したいという気持ちが一番大事だと思っています。また、社会情勢の変化はスピードを増しており、こうした変化にも対応しながら課題を解決しなければなりません。それには、常識にとらわれない発想なども求められていると思います。

是非、一人でも多くの方に財務省の扉を叩いていただき、財務省職員として希望ある社会の実現を目指して共に働くことを楽しみにしています。

国際局 概要

●国際通貨政策

外国為替市場、内外資金フローの把握・分析や外貨準備の管理等により外国為替制度の運営に当たっているほか、G7、G20、国際通貨基金(IMF)関連の各種国際会議を通じて、国際金融システムの安定に向けた制度強化に関する国際的な取り組みに参画しています。このほか、テロ資金供与対策や大量破壊兵器の拡散防止策など、国際金融システムの濫用の防止に取り組んでいます。また、アジア地域における通貨危機の予防・対処のため、チェンマイ・イニシアティブやアジア債券市場イニシアティブ等の取り組みを通じて、アジア地域内における地域金融協力に取り組んでいます。

●開発援助政策

政府開発援助(ODA)の効率的・戦略的な活用、具体的には、円借款や国際協力銀行を通じた二国間支援に関する政策の策定、世界銀行をはじめとする国際開発金融機関(MDBs)を通じた多国間支援を行っています。また、それら支援の実施に関連し、地球環境問題や途上国債務問題への対応を行い、開発途上国の経済・社会の安定的な発展を実現するための国際協力を推進しています。

透明性と公平性を確保し、 債権保全と債務国の経済再生の両立を目指す

現在の業務内容

開発政策課では、開発途上国における開発に関する業務(インフラ・債務問題・国際保健・環境問題等)や財務省が所管しているODA予算(経済協力費)の編成等、開発援助政策に係る幅広い分野を所掌しています。その中でも私の所属する調整係では、特に開発途上国の債務問題を扱っています。近年では、新型コロナウイルス感染症の拡大やロシアによるウクライナ侵略等の不安定な世界情勢により、途上国、とりわけ低所得国や一部の脆弱な中所得国において、各国が抱える債務を返済できない危険性(債務リスク)が高まっています。

このような状況を受け、私たち調整係は、パリクラブと呼ばれる主要な債権国と債務国が二国間のリスケジュール(返済の繰り延べ)協議

等を行う非公式会合の枠組みにおいて、日本政府側の担当者となっており、債務リスクの高い国々の経済状況の確認や、債務不履行に陥った国の債務再編(返済の猶予などの救済措置)に携わることで、日本の対外債権の保全及び日本政府における債務国の経済再生に向けた政策の一部を担っています。

現在の業務の魅力・ やりがいについて

債務再編へのプロセスは複雑で、なかなか実を結びにくい業務ではありますが、一歩ずつ前進していると感じることができた時は非常にやりがいを感じます。一国の債務再編に至るまでには、パリクラブでの多国間協議、IMF等の国際金融機関や主要債権国との一対一での面会等、交渉の膨大な積み重ねが必要

です。現在、日本が主導するスリランカの債務再編は、中所得国の債務再編において、パリクラブのメンバーではない債権を有する新興国を巻き込み、債権国会合を発足した初のケースであり、歴史的快挙となりました。

債権国会合は、債務再編の詳細な内容について議論を行う場であり、債務再編に向けたスタート地点によりやく到達した段階に過ぎません。しかし、主要な債権国やIMF等と幾度となく行われた面会や、公表文書にかかる細かい文言の調整といった苦勞を乗り越え、担当者としてスリランカの経済再生のための貴重な本会合に立ち会えたことは、非常に感慨深く、ここまでやってきて良かったと思える達成感ややりがいを感じることができました。

国際局開発政策課調整係

上坂 美香 [令和3年入省]
KAMISAKA Mika



大臣官房

大臣官房文書課国会係

金川 美咲 [令和元年入省]
KANEGAWA Misaki



立法府と行政府の橋渡しとして働く

現在の業務内容

私が所属する大臣官房文書課は、財務省全体の文書管理から国会対応、機構・定員管理、広報、サイバーセキュリティといった幅広い業務を担当しています。その中で私は、日本の政治の中核である永田町にある、国会議事堂内の「国会連絡室」で勤務しています。「国会連絡室」は、立法府(国会)と行政府(各省庁)の連絡調整に関する仕事を行っているた



め、国会議事堂内に事務室(勤務場所)があるという少し特殊な部署だと思っています。

具体的に、現在の主な業務は、国会の運営状況に関する情報の収集とそれらの情報の財務省への展開、予算案や財務省が提出する法律案の政党内手続きのための連絡調整などです。他省庁も同じように国会議事堂内に事務室を設けており、他省庁の同世代の職員と幅広い人脈が作れることが特徴です。

現在の業務の魅力・やりがいについて

国会連絡室は足で情報を稼ぐことがメインの仕事なので、日中は議事堂内を歩き回って、財務省に伝える情報を収集しています。議員会館や政党本部にも足を運ぶことが多いですが、どこに行っても「財務省の看板を背負っている」ことを常に意識しています。時には大臣の日程

等を大きく左右する情報もあり、責任が大きい業務ですが、日本の政治が動く瞬間や、ニュースで大きく取り上げられるような出来事を目の当たりにすることが多々あり、とても刺激的な環境で働いています。

また、国会開会中は、それぞれメディアが取り上げるような、いわゆる「目玉法案」が提出されることがあり、その法案の成立過程において、与野党の緊迫した審議に立ち会えることもあります。

日本の政治について、日常の中で意識する機会はそのままで多くはないかもしれませんが、決して「テレビの向こう側」の世界ではありません。日本の行く末を左右する意思決定と歴史が、今この瞬間に作られていて、その現場に財務省職員として立ち会えることに誇りを持って働いています。

大臣官房概要

大臣官房は、財務省の内部管理と行政事務の総合調整役を担っており、希望ある社会の実現に向け、各局で活躍する職員を支える縁の下のような存在です。具体的には以下のような業務を行っています。

- 秘書課: 職員の人事、給与、服務等
- 文書課: 内部部局間の調整、広報、行政文書の管理、情報システム関連業務等
- 会計課: 財務省の予算、庁舎管理、契約業務等

- 地方課: 財務局との連絡・調整等
- 総合政策課: 経済情勢の調査・分析等
- 政策金融課: 政府系金融機関の監督等
- 信用機構課: 預金保険機構の監督等

関税局

関税局関税課法規係

西山 直希 [令和元年入省]
NISHIYAMA Naoki



関税政策を通じて国民生活を考える

現在の業務内容

関税局関税課では、輸出入の際に課せられる関税の改正業務を主に行っています。関税の改正にあたっては、各省庁から関税の改正に係る要望を受け、その内容についてヒアリング等を行い、改正の是非等を検討します。そして、

関税・外国為替等審議会の「関税分科会」における外部有識者による審議や税制改正大綱を踏まえ、改正案を作成し、国会で審議・可決されることで関税が改正されます。私はこのプロセスにおいて、改正の是非等の検討やその検討に必要な資料の作成、各省庁との調整等に係る業務を行っています。

関税局概要

税関は、我が国の経済・社会秩序を維持するため、覚醒剤等の不正薬物や銃砲、知的財産侵害物品等の密輸入取締り、輸出入貨物の通関、関税や消費税等の徴収等を行う行政機関です。関税局は、この税関の司令塔としての機能を有する組織であり、税関行政に関する様々な政策や制度の企画・立案等を担当しています。具体的には、不正薬物や銃砲、知的財産侵害物品等の取締方針や制度の策定、警察等の関係機関や関係業界との連携、IT化の推進等を行っています。また、関税局は税関・通商分野での国際交渉や国際協力を担う機能も有しています。例えば、世界各国との経済

連携協定交渉を始め、WTO(世界貿易機関)やWCO(世界税関機構)等における国際ルール作りへの貢献、外国税関との連携強化を目的とした相互支援協定の締結、途上国税関に対する制度・人材育成の支援等、国際貿易の促進や日系企業の海外進出を後押ししています。さらに、関税局・税関では貿易統計を発表しており、我が国の重要な経済指標の一つとして国内外で活用されています。このように、関税局は国民生活に直結する政策に従事するとともに、執行機関である税関との関わりが深い組織であることが特徴として挙げられます。

主税局



私たちの生活には、外交や国防はもとより、公共サービスの提供、公債の返還まで様々な経費がかかりますが、このような経費を支出するためには、租税収入が不可欠です。主税局では、こうした私たちの生活に不可欠な租税に関し、所得税、法人税、消費税等の各税目の企画・立案に加え、租税収入の見積もり、税務手続きに関する制度や外国との租税に関する協定の企画・立案業務を担っています。特に、例年、秋から冬にかけては、常に変化する経済社会や国際情勢を踏まえて、どのような見直しが必要であるか、集中的に検討を行い、翌年の通常国会での税制改正法案の成立を目指します。

主税局として近年取り組んでいる課題は、働き方の多様化の進展等に対応した所得税の見直し、経済のグローバル化やデジタル化等に伴う国際課税のルールの見直し等、多岐にわたっています。